

艇跡

2005年7月号

発行:名古屋工業大学漕艇部

編集:神原 あい

例年より遅い梅雨入りとなり、東海地方特有のじめじめとした日々が続く季節となりました。皆様方の注目となりました全日本選手権も終わり、残るは全日本大学生選手権のみとなりました。



今月のトピックス

- 全日本選手権 男子シングルスカル(澤津) 3位銅メダル
男子ダブルスカル(S:下手 B:西雪) 準決勝進出
- 中部学生選手権 男子シングルスカル(澤津)
& 男子ダブルスカル(S:下手 B:西雪) 優勝
- S47年の方々の同窓会
- 今後の予定

☆全日本選手権☆

戸田オリンピックコースで行われた全日本選手権に、皆様遠いところから応援に駆けつけてくださいました。天気もはっきりせず、6月というのに肌寒い中、試合が行われました。皆さまの期待を一心に受け、男子シングルスカル、男子ダブルスカル共に精一杯の漕ぎをみせてくれました。

日程：2005年6月2日(木)～5日(日)

場所：埼玉県 戸田漕艇場 2000m

出漕クルー：男子シングルスカル(澤津 貴弘)

男子ダブルスカル(S:下手 貴史 B:西雪 健次朗)

男子シングルスカル

予選 1杯上がり

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	名古屋工業大学(澤津)	1'46"89	3'35"88	5'26"00	7'18"44	←準決勝
2	三洋電機洲本(小畠)	1'45"39	3'36"23	5'28"98	7'22"42	
3	小樽商科大学(細川)	1'56"34	3'52"59	5'46"26	7'51"79	
4	東京外国語大学(秋山)	1'50"30	3'45"39	5'49"06	7'58"86	
5	東京海洋学部(山崎)	1'52"09	3'52"89	5'59"85	8'09"28	
6	青山学院大学(鈴木)	1'59"98	4'02"33	6'06"30	8'10"75	

準決勝

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	名古屋工業大学(澤津)	1'50"91	3'48"39	5'48"87	7'54"33	←決勝
2	立教大学(山本)	1"52"64	3'52"61	5'58"28	7'59"94	←順位決定
3	戸田中央総合病院(須田)	1'57"72	4'02"37	6'05"77	8'01"91	
棄権	今治造船(藤川)					

決勝

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	中部電力(長谷)	1'46"86	3'40"39	5'37"19	7'34"48	←優勝
2	三洋電機洲本(小畠)	1'47"72	3'44"22	5'42"60	7'36"32	←準優勝
3	名古屋工業大学(澤津)	1'50"30	3'45"86	5'42"85	7'38"44	←3位入賞
4	JINZU-SC(東山)	1'46"68	3'41"39	5'42"35	7'38"78	

決勝ではスタートから置いていかれ 500mでは4秒ほどの差となる。中盤には三洋電機(小畠)と JINZU-SC(東山)と並んだ。最後はスパートで上げ、ギリギリではあったが3着でゴール！

男子ダブルスカル

予選 1杯上がり

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	仙台大学	1'37"98	3'23"26	5'11"45	7'00"05	←準決勝進出
2	名古屋工業大学	1'41"34	3'27"93	5'19"41	7'12"44	
3	鹿屋大学	1'38"21	3'25"89	5'21"28	7'20"49	
4	日本体育大学	1'49"06	3'41"73	5'39"95	7'38"58	
5	龍谷大学	1'47"24	3'42"72	5'44"78	7'44"82	
6	日本医科大学	1'54"11	3'56"17	6'07"25	8'13"83	

敗復 2杯上がり

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	浜寺 RC	1'43"44	3'35"26	5'31"02	7'19"74	←準決勝進出
2	名古屋工業大学	1'43"60	3'35"54	5'28"61	7'19"76	←準決勝進出
3	円山川城崎 RC	1'49"78	3'45"62	5'45"19	7'41"69	
4	千葉大学	1'51"44	3'52"80	5'55"75	7'59"56	
5	東北大大学	2'06"81	4'06"84	6'13"79	8'14"77	
6	日本医科大学	1'54"06	3'58"73	6'08"94	8'15"58	

準決勝

着順	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	
1	瀬田漕艇クラブ	1'42"99	3'31"84	5'18"50	7'05"88	←決勝進出
2	早稲田大学	1'40"84	3'30"41	5'20"02	7'10"91	←順位決定
3	名古屋工業大学	1'43"16	3'34"52	5'27"56	7'19"35	
4	立命館大学	1'46"86	4'42"91	5'46"62	7'27"83	

(準決勝)

練習通りといえるスタートでレースが始まった。ダッシュ、スパートが終わると早稲田はもう視界から消えていた。1000m付近までは瀬田漕艇クラブにくらいいついていたが徐々に離され始め、足けりを入れても追いつけなかった。ゴール前でのラストスパートでも伸びを欠き、まだまだ力不足を感じさせられるレースになった。

クレーの言葉

男子シングルスカル

澤津 貴弘(4年)

今年の全日本は改めて思いの強さを感じるレースとなりました。世界選手権のメンバーが4人揃った決勝の前日は正直他の3人に引き離されるような展開になるのではないかと不安でした。同時に自分の力がどこまで通用するのか楽しみでもありました。

当日はとにかく最初から勝負にいくため、現役を中心とするみんなに『スタートからゴールまでずっと声を掛けて欲しい』とお願いしました。そしていよいよ迎えた決勝のレースではスタートの瞬間から置いていかれ、500mを過ぎた頃「やっぱりどうにもならないのか…」などと思っていたときに周りから聞こえてくるたくさんの応援に「諦めたらそこで終わりだ！」と思い直して漕ぎました。どんどん大きくなる声援にたくさんの力をもらいました。そして、ラストスパートは本当に気持ちだけでした。技術面での成長もあるでしょうが、今回の銅メダルはこれまでになくみんなで獲ったのだと感じています。少しでもたくさんの方がレースを見に来て頂けるとうれしいです。これからもよろしくお願ひします。



男子ダブルスカル

B 西雪 健次朗（大学院1年）

結果は準決勝敗退。来てくれたOB全員に良いところを見せられなかった。近年の好成績おかげで、自分は最低でも最終日に残らないと満足できなくなっている。インカレではファイナルAに残るので、これからも期待しながら応援してください。

遠征中、サポートにまわってくれた神谷、神原、小掠ありがとうございました。

S 下手 貴史 S（4年）

自分にとっての最後の全日本。準決勝敗退という悔しい結果になった。2年前からの成長を形で表したかった。

名工大の強さであるコンスタントでの粘りがなかった。強豪のクルーたちとは1000m以降での差が大きいと感じた。しかし収穫もあった。予選のレースで、今までボートを漕いで味わったことのない感覚で艇を進めることができた。二人で新しい世界を見た感じだった。初めてオールを握つてからもう3年が経つが、またボートの魅力を感じ感動した。





コーチの言葉

小掠 隆広

決勝では澤津が3位入賞というすばらしい成績を残してくれた。だが自分の中ではそのうれしさ以上に、ダブルが準決勝で敗れてしまったことが悔しかった。ダブルの2人は漕暦4年目と5年目。練習量だって他の大学、企業に引けをとらないはずだし、それでも勝てなかった。考え方、練習の見方を見直す必要があると感じさせられた。インカレでは澤津だけでなく、全てのクルーが結果を残せるようにしたい。

◎◎応援に来て下さった方々 (敬省略) ◎◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S36	E	神谷昌宏(会長)	S36	D	佐藤弘	S40	E	大西旻
S48	W	衣斐洋一(副会長)	S53	A	神谷省次	S53	E	川村信之
S53	M	佐野武雄(監督)	S57	E	竹下隆晴(部長)	H3	Ej	杉森英夫
H10	I	石黒新治	H10	D	大谷博之	H10	Ec	岡田実
H13	M	栗田剛志	H15	Ue	櫻井潤	H16	M	中島明
H17	Sc	荻須美樹						

◎ 白艇会費・寄付金をくださった方々 (敬省略) ◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
H3	Ej	杉森英夫	H10	I	石黒新治	H10	D	大谷博之
H10	Ec	岡田実	H17	Sc	荻須美樹			

ありがとうございました。大切に使わせていただきます。

☆中部学生選手権☆

今年に入り名古屋での最高気温を記録した日、中部学生選手権が行われました。全日本選手権に出場したクルーたちは注目度の集まる試合となり、他のクルーも今まで練習してきた成果を発揮しました。

日程：2005年6月24日(土)～25日(日)

場所：愛知県名古屋市 中川運河漕艇場 1000m

出漕クルー：男子シングルスカル(澤津 貴弘・阿葉家 淳)

男子ダブルスカル(S:下手 貴史 B:西雪 健次朗)

男子舵手付フォア(C:神谷 恭平 S:石川 敦正 3:土岐 良太

2:天野 賢治 B:平 雄二)

男子シングルスカル

予選A組

着順	クルー	500m	1000m
1	名古屋工業大 A(澤津)	1'57"64	4'04"10
2	三重大(竹中)	1'57"07	4'19"86
3	名古屋大 A(石川)	2'00"88	4'23"56
4	静岡大 A(藤原)	2'13"22	4'45"26

予選B組

着順	クルー	500m	1000m
1	名古屋大 D(久田)	2'08"34	4'26"27
2	名古屋工業大 B(阿葉家)	2'11"77	4'36"50
3	愛知工業大(内山)	2'15"06	4'45"08
4	大同工業大 A(水谷)	2'37"08	5'19"27

敗復E組

着順	クルー	500m	1000m
1	愛知教育大(辻)	2'01"29	4'23"97
2	名古屋工業大 B(阿葉家)	2'11"18	4'34"72
3	南山大(梶田)	2'14"06	4'41"58
4	大同工業大 A(水谷)	2'44"29	5'34"67

準決勝H組

着順	クルー	500m	1000m
1	名古屋工業大 A(澤津)	1'50"09	3'51"72
2	三重大(竹中)	1'53"73	3'57"17
3	名古屋大 A(石川)	1'52"78	4'00"19
4	名古屋大 D(久田)	1'53"89	4'03"98

決勝J組

着順	クルー	500m	1000m
1	名古屋工業大 A(澤津)	1'42"84	3'37"91
2	三重大(竹内)	1'46"53	3'46"30
3	滋賀医科大 A(細場)	1'52"86	3'59"41
4	静岡大 B(横山)	1'55"19	4'12"48

男子シングルスカル・澤津

スタートで三重大と並ぶもののコンスタントに入ってから着実に艇を進め、少しずつではあったが後ろを引き離していった。早いラストスパートに少し詰められるも自分もスパートをし、そのままゴール！(決勝)

男子ダブルスカル

予選 A 組

	着順 クルー	500m	1000m
1	名古屋工業大	1'43"03	3'41"22
2	滋賀医科大「Mercurius」	1'51"31	3'55"45
3	南山大 A	1'56"51	4'03"81
4	中京大	1'54"82	4'09"22

準決勝 H 組

	着順 クルー	500m	1000m
1	名古屋工業大	1'39"74	3'36"03
2	滋賀医科大「Mercurius」	1'45"33	3'45"01
3	南山大 A	1'45"05	3'49"57
4	浜松医科大 潮	1'50"60	4'44"61

決勝 J 組

	着順 クルー	500m	1000m
1	名古屋工業大	1'42"01	3'33"79
2	大同工業大 A	1'42"80	3'40"42
3	滋賀医科大「Mercurius」	1'46"80	3'46"87
4	滋賀医科大「Jonathan」	1'54"84	4'03"86

決勝

スタートしてから 500m 付近までは大同工業大と競っていたが、600m の少し手前で足けりを入れ、少し前に出た。差がつき始めるとどんどん離していく余裕を持ってゴールした。



男子舵手付フォア

予選 A 組

着順	クルー	500m	1000m
1	名古屋大 A	1'43"28	3'41"57
2	名古屋工業大	1'45"50	3'50"84
3	浜松医科大「凜」	1'57"22	4'10"88
4	東海大海洋学部 B	2'05"50	4'19"12

敗復 E 組

着順	クルー	500m	1000m
1	南山大	1'48"59	3'49"83
2	名古屋工業大	1'51"00	3'54"95
3	東海大海洋学部 B	2'04"78	4'21"56

準決勝 G 組

着順	クルー	500m	1000m
1	名古屋大 A	1'37"86	3'32"75
2	名古屋工業大	1'41"10	3'37"59
3	浜松医科大「うすい」	1'43"62	3'39"64
4	浜松医科大「凜」	1'53"84	3'58"82

決勝 H 組

着順	クルー	500m	1000m
1	浜松医科大「湍」	1'37"86	3'32"75
2	滋賀医科大「ひすい」	1'39"78	3'32"75
3	名古屋大 A	1'39"46	3'28"65
4	名古屋工業大	1'42"40	3'33"61

予選、敗復スタートでは良かったものの一位のクルーと突き放される形となってしまった。また、決勝ではスタートからとばし中盤やラストスパートでもいいものがでたが及ばず、四位と悔しい結果となってしまった。

クルーの言葉

男子舵手付フォア

石川 敦正 S (3年)

今大会はめざせ総合優勝ということで僕たちフォアは絶対メダルをとるぞという意気込みで挑みました。日頃の練習においても OB の方々、マネージャーの支援のおかげで漕ぎに集中でき、いい雰囲気で試合当日を迎えることができました。結果は4位と奮わず終わってしまいましたがこの悔しさが必ずやインカレへの糧となることでしょう。インカレまであと3ヶ月、お互いを高め合い最終日進出という目標を達成できるように必死に頑張っていきますので、どうぞ応援よろしくお願いします。

神谷 恭平 C (4年)

今回の試合は、前回に引き続き南山、名大に勝つことができなかつたことが1番悔しい。決勝まで残ることができたが、過程にも結果にも全く満足できるものではなかった。現役の時間は残りわずか。その少ない時間を満足できるものとしたい。そして、最後のインカレで良い結果を残したいと思う。

▲▲男子シングルスカル▲▲

阿葉家 淳(2年)

今回の試合は自分の力を試すいい機会だと思って臨んだが結果はひどいものだった。まだまだ上にはたくさんいることがわかりいい経験になった。近くに頂点に立つような人がいるのでその人に少しでも近づけるようにこれから頑張っていきたい。



◎◎応援に来て下さった方々 (敬省略) ◎◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S48	特別会員	山内政勝	S48	W	衣斐洋一(副会長)	S53	M	佐野武雄(監督)
H10	I	石黒新治	H15	D	川嶋教孔	H15	Ue	櫻井潤
H17	Sc	荻須美樹						

◎ 白艇会費・寄付金をくださった方々 (敬省略) ◎

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S48	特別会員	山内政勝	S48	W	衣斐洋一(副会長)	H10	I	石黒新治
H17	Sc	荻須美樹						

ありがとうございました。大切に使わせていただきます。

☆S47年の方々の同窓会☆

ゴールデンウィーク明け次の週末である、5月7日(土)にS46年卒の9名の方々がお集まりになり、久しぶりに庄内川でエイトを漕がれました。皆さん 2005年N.I.T.Tシャツで服装をそろえ、何度も庄内川を往復なさっていました。

9名の方々(敬省略・50音順)

堅田 晃英	神田 稔也	玉置 光司	長谷川 和雄	平林 健一
廣江 一治	福永 忠昭	堀井 国雄	安井 通雄	



中日新聞の記者の方が取材にお越しになり、翌日、8日の中日新聞に掲載されました。なお、この9名の方々から9万円の寄付金をいただきました。

☆今後のお知らせ☆

田島先生を偲ぶ会および 50 周年記念総会

日程 : 2005 年 9 月 3 日(土)～4 日(日)
場所 : 愛知県名古屋市 中電東桜会館
3 日(土) : 田島先生を偲ぶ会
50 周年記念総会
4 日(日) 世界ボート選手権観戦
会費 3 日当日のみ…10,000 円
宿泊の方…20,000 円
なお詳細につきましては同封いたしました別紙をご覧ください。

名古屋レガッタ

日程 : 2005 年 9 月 18 日(日)
場所 : 名古屋市中川区 中川運河漕艇場 1000m
出漕クルー : 未定
1 年生の初試合となります。是非お越しください。

全日本大学選手権

日程 : 2005 年 10 月 6 日(木)～10 月 9 日(日)
場所 : 埼玉県 戸田漕艇場 2000m コース
出漕クルー : 男子シングルスカル
男子ダブルスカル
男子舵手付フォア

今回は世界ボート選手権の影響で 10 月に行われる事になりました。
9 月後半より戸田に入る予定です。練習の様子なども見に来てください。

詳しくはメーリングリスト、電話等でご連絡いたします。